

行政事業レビューシート (文部科学省)						
予算事業名	国際視覚障害者援護協会		事業開始年度	平成12年度	作成責任者	
担当部局庁	初等中等教育局		担当課室	国際教育課	国際教育課長 中井 一浩	
会計区分	一般会計		上位政策	国際交流の推進		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	教育振興基本計画(平成20年7月1日閣議決定)		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	社会福祉法人国際視覚障害者援護協会が行う外国人留学生等に対する支援事業に必要な経費を補助することにより、我が国と諸外国との教育交流及び相互理解の増進を図ることを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	視覚障害を持つ外国人学生に対し、盲学校入学前の6ヶ月間、日本語や日本語点字、生活習慣、歩行訓練など日本での生活に必要な基本的知識・技術を身に付けさせる予備教育を行う民間団体の事業について、同団体からの申請に基づき、渡航介助外国旅費、予備教育講師謝金・旅費、予備教育教材費等を補助。					
実施状況	「政府開発援助文化交流団体補助金交付要綱」で指定する補助事業者からの補助金交付申請に基づき補助 ○平成21年度 ・補助事業者: 社会福祉法人国際視覚障害者援護協会 (出身国・人数: インドネシア 1人、モンゴル 1人)					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	6	5	5	5	5
	執行額	6	5	5		
	執行率	100%	100%	100%		
	総事業費(執行ベース)	6	5	6		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	事業者より提出された補助金交付申請書及び実績報告書等により審査を行い、適宜、書類の提出や電話等での確認により状況把握を行っている。 また、必要に応じて証拠書類を取り寄せる等、各費目についての詳細把握を行っている。				
	見直しの余地	補助金対象業務と団体固有業務との区別が不明瞭とならないよう、補助金対象業務の一層の透明化を図る。 また、事業の具体的な実施状況については、補助事業者からの報告書のみで把握してきたことから、現地調査等を行うことを検討する。				
予算チーム視の・所見率化	1. 事業評価の観点: この事業は、視覚障害を持つ外国人学生に対し、盲学校入学前の6ヶ月、日本語や日本語点字、生活習慣、歩行訓練など日本での生活に必要な基本的知識・技術を身に付けさせる予備教育を行う民間団体の事業について、同団体からの申請に基づき、渡航介助外国旅費、予備教育講師謝金・旅費、予備教育教材費等を補助する事業であり、長期継続事業の観点から検証を行った。 2. 所見: この事業は、平成12年度から特定の法人に補助する長期継続事業であるが、今後も視覚障害を持つ外国人学生に対し教育を推進するため引き続き実施すべき必要な事業である。しかしながら、これまでの事業の成果の検証を行い、事業の必要性・有効性や実施体制・手法の見直しについての検証を行うことにより、予算を縮減すべきである。また、特定の法人に支出補助金であり、法人固有の業務との区別が不明瞭とならないよう、補助対象業務の一層の透明化を図るべきである。					
補記						

文部科学省
5.4百万円

視覚障害を持つ外国人学生に対し、盲学校入学前の6ヶ月間、日本語や日本語点字等の必要な基本的知識・技術を身に付けさせる予備教育を行う民間団体の事業について、同団体からの申請に基づき、補助を行う。

【補助】

政府開発援助文化交流団体補助金：
5.4百万円

A. 社会福祉法人国際視覚障害者援護協会

盲学校入学前に日本での生活に必要な基本的知識・技術を身に付けさせる予備教育の実施。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)

(単位:百万円)

A. 社会福祉法人国際視覚障害者援護協会			E.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
賃金	予備教育業務の補助者(指導準備等の協力)等	2.0			
諸謝金	予備教育講師謝金	2.0			
旅費	渡航介助外国旅費、施設見学交通費等	1.1			
消耗品費	参考図書購入費、副教材作成費等	0.2			
通信運搬費等	通信運搬費、雑役務費(振込手数料)、留学生保険料等	0.1			
計		5.4	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)